

SDGs未来都市等進捗評価シート

2021年度選定

東京都江戸川区

2023年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

江戸川区 SDGs未来都市計画
海拔ゼロメートルのまち江戸川区を目指す
「SDGs = 共生社会」先進都市

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

江戸川区SDGs未来都市計画 海拔ゼロメートルのまち江戸川区が目指す「SDGs = 共生社会」先進都市

(2) 2030年のあるべき姿

本区は、「SDGs = 共生社会」と捉えており、この実現に向けた先進的な都市モデルを実現する。

- ・災害があっても誰一人取り残さないまち：自助・共助・公助のもと全区民が水害対策に取り組むまちの実現
- ・魅力あるまち：まちの魅力が理解され定住人口の増加、多くの人が訪れるまちの実現
- ・新たな時代に即した産業のあるまち：多様な企業価値が創造され新たな時代に即した 産業のあるまちの実現
- ・多様性の中で「共生社会」が実現されているまち：安心して暮らせる「ともに生きるまち」の実現

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※【】内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
1	民間との協働プロジェクトによる経済波及効果（累計） 【9.5, 9.b, 17.13】	2020年 0 円	2022年 5.97 億円	2030年 10 億円	60%
2	社会課題解決のため、区と連携協定を締結する企業・団体数 【9.4, 12.4, 17.6, 17.17】	2020年 131 件	2022年 215 件	2030年 200 件	122%
3	えどがわSDGsパートナー企業登録制度登録企業数 【17.17, 8.3】	2020年 0 社	2022年 0 社	2030年 3,000 社	0%
4	えどがわSDGsリーダー企業認証制度認証企業数 【17.17, 9.6】	2020年 0 社	2022年 0 社	2030年 50 社	0%
5	「なごみの家（地域共生社会構築の拠点）」設置数 【10.2, 16.7】	2020年 9 か所	2022年 9 か所	2030年 15 か所	0%
6	ボランティア・プラットフォーム登録人数（累計） 【16.7, 17.9, 17.16】	2020年 0 人	2022年 0 人	2030年 100,000 人	0%
7	区への親近感や愛着を感じている区民の割合（区民世論調査） 【11.3, 11.7, 17.17】	2020年 88 %	2022年 89.6 %	2030年 93 %	32%
8	区内の温室効果ガス排出量 【13.2】	2017年 2,237 千トン	2020年 2,087 千トン	2030年 1,503 千トン	20%
9	葛西海浜公園海水浴場利用者数 【14.7】	2019年 49,470 人	2022年 68,637 人	2030年 70,000 人	93%
10	区民一人あたりの樹木数 【11.7, 15.2】	2020年 9.65 本	2022年 10.16 本	2030年 10 本	146%
11	区民一人あたりの公園面積 【11.7, 15.2】	2020年 8.81 m ²	2022年 11.32 m ²	2030年 9.12 m ²	810%

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年（現状値）	2030年（目標値）	達成度（%）
12	大規模水害時の避難態勢の構築 【11.5,11.b, 17.16】	2020年 0.0 %	2022年 40 %	2030年 100 %	40%

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・令和5年10月に区内企業との共同開発により「SDGsアプリ」のリリースを予定している。
本アプリは、「SDGsは、具体的に何をしたらよいのかわからない」という区民の声を受け、日々のSDGs行動をアプリ画面に表示し、区民が自発的に行動できる仕組みを構築するとともに、実際の行動を数値として可視化できるアプリとなっている。
さらに本アプリでは、当初企画していた以下の施策も予定している。
- 【指標No.3】①SDGsに取り組んでいる区内企業や商店等を「つながるスポット」として登録し、該当の企業等を「SDGsパートナー企業」として登録制度を構築
- 【指標No.6】②ボランティアプラットフォームについては、アプリ内にボランティアのマッチング機能を搭載することで、「登録人数」を把握
- ・【指標No.4】「SDGsリーダー企業認証制度」については、江戸川区産業賞の中で、令和4年度から新たに「SDGs推進事業所表彰」を設け、すでに1社を表彰済である。今後もSDGs推進事業所表彰を継続し、SDGsリーダー企業として育成・連携を実施していく。
- ・【指標No.5】「なごみの家の拠点数」については、将来にむけたなごみの家の機能や在り方について、全庁検討案件(年度内を目途に結論)となっていることから、その方向性 にしたがって、今後対応していく。
- ・「情報発信・啓発普及」について、令和3年度より「SDGs FES in EDGAWA」を開催。令和4年度は、葛西臨海公園にて有観客で開催し、約2万人が参加した。なお、本イベントでは外務省にも協賛いただき、当日は、外務省国際協力局 日下部英紀審議官にご登壇いただいた。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 (%)
1	①水害があっても誰一人取り残さないまち	避難計画が策定されている災害時避難行動要支援者数	2021年 1,400 人	2021年 360 人	2022年 360 人		2023年 5,000 人	-29%
2	①水害があっても誰一人取り残さないまち	災害発生時の支援活動への参加意向（区民世論調査）	2021年 12.4 %	2021年 データなし %	2022年 データなし %		2023年 50 %	—
3	②自然と都市が共存する魅力あるまち	葛西海浜公園海水浴場利用者数	2019年 49,470 人	2021年 13,404 人	2022年 68,637 人		2023年 55,000 人	347%
4	②自然と都市が共存する魅力あるまち	区内で行われたロケーション撮影の件数	2019年 260 件	2021年 295 件	2022年 297 件		2023年 500 件	15%
5	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	デジタル技術導入助成制度活用企業数	2021年 6 社	2021年 2 社	2022年 2 社		2023年 15 社	-44%
6	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	デジタルコンサルティング補助事業活用企業数	2021年 0 社	2021年 0 社	2022年 3 社		2023年 15 社	20%
7	③新たな時代に求められる産業が生まれるまち	えどがわSDGsパートナー企業に対する融資支援制度活用企業数	2021年 0 社	2021年 1 社	2022年 3 社		2023年 100 社	3%
8	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	障害者のスポーツ実施率	2021年 31.4 %	2021年 データなし %	2022年 27.9 %		2023年 34.5 %	-113%
9	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	みんなの就労センター登録者数	2021年 0 人	2021年 169 人	2022年 284 人		2023年 240 人	118%

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)
10	④多様性を尊重し共生社会が実現しているまち	外国人との交流に関する地域活動への参加意向(区民世論調査)	2020年 12.6 %	2021年 データなし %	2022年 データなし %		2023年 20 %	—

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

- ・令和5年10月に区内企業との共同開発により「SDGsアプリ」のリリースを予定している。
本アプリは、「SDGsは、具体的に何をやらねばいいかわからない」という区民の声を受け、日々のSDGs行動をアプリヘラダムに表示し、区民が自発的に行動できる仕組みを構築するとともに、実際の行動を数値として可視化できるアプリとなっている。
さらに本アプリでは、当初企画していた以下の施策も予定している。
①SDGsに取り組んでいる区内企業や商店等を「つながるスポット」として登録し、該当の企業等を「SDGsパートナー企業」として登録制度を構築
②ボランティアプラットフォームについては、アプリ内にボランティアのマッチング機能を搭載することで、「登録人数」を把握【再掲】
- ・「SDGsリーダー企業認証制度」については、江戸川区産業賞の中で、令和4年度から新たに「SDGs推進事業所表彰」を設け、1社を表彰した。
今後もSDGs推進事業所表彰を継続し、表彰企業をSDGsリーダー企業として育成・連携を実施していく。【再掲】

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- ・【指標No.1】「避難計画が策定されている災害時避難行動要支援者数」については、令和2年度に対象者約5,000人のうち、避難の優先度の高い区民、1,400人に対して福祉避難所を指定。令和3年度には、指定した1,400人に対して個別避難計画書の作成依頼をおこない360人が計画を策定した。
令和4年度については障害区分や介護度等を考慮し、避難行動要支援者名簿の再抽出を実施。対象者が7,400人となったことから、新たな対象者に福祉避難所の紐付け及び福祉避難所への名簿提供への同意調査を実施した。
- ・SDGsの行動について、「具体的に何をやらねばいいかわからない」という声を受け「さあ やってみようSDGsえどがわ10の行動」を作成。「食品ロスをなくそう」「とにかくりサイクルしよう」「家事や育児・介護に家族みんなが参加しよう」など、身近に取り組めるSDGs行動を10個作成し、区民のSDGs行動を促した。
- ・「さあ やってみようSDGsえどがわ10の行動」を中心に区民へSDGsを啓発
①SDGsが国連で採択された9月25日からの2か月間をSDGs推進月間とし、期間内に10の行動に関する61のイベントを全庁挙げて実施した。
②令和3年度より「SDGs FES in EDGAWA」を開催。令和4年度はコロナ対策を実施の上、葛西臨海公園にてリアル開催し、10の行動が体験できるイベントを開催。約2万人が来場した。【再掲】
③10の行動について毎月1つずつスポットを当てて広報誌にて特集記事を掲載。行動に関するイベントもおこない周知・啓発を実施した。
- ・【指標No.2】「災害発生時の支援活動への参加意向」については、世論調査にて調査を行っていたが、項目の見直しが行われたため、現在作成中の2期計画の中で指標の見直しを行っていく。
- ・【指標No.5】「デジタル技術導入助成制度活用企業数」については、SNSをはじめとする区の情報発信媒体なども活用し、申込企業増加に向けた取り組みを実施していく。
- ・【指標No.8】「障害者のスポーツ実施率」については、コロナが収束したことから、障害者が運動できる機会の提供を拡大していく。
- ・ステークホルダーとの連携として、令和3年10月にラグビートップリーグに属するクボタスピアーズと「SDGs 推進に係る連携と協力に関する協定」を締結。庁内の部署とさまざまな取り組みを実施し今年度、江戸川区陸上競技場で行われた全試合を「SDGsマッチ」と位置付け、新たなステークホルダーを創出する機会となっている。
- ・【指標No.10】外国人との交流に関する地域活動への参加意向については、今年度実施する「多文化共生に関する調査（web調査）」にて調査を実施予定。
- ・SDGs推進センターにてX(旧ツイッター)を開設し、SDGsに関する情報発信を行っている。（フォロワー約1,100名）

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・ゼロメートル地帯に向けた防災計画と、地域経済を含む市民社会の活性化を目指す取組がバランスよく計画、実施されていると評価できる。
- ・つながるスポットの構築がどうなっているのかの説明が望まれる。
- ・パートナー企業もまだないよう見受けられる点を懸念する。
- ・取組指標の達成度がやや低いので、その向上の努力が求められる。